

# 香川大学 NEWS

## ご紹介いたします!香川大学応援隊

地域に根ざした大学として地元の企業や自治体さまにさまざまな形で香川大学を応援していただいています。

**応援団①**  
ふるさと納税をはじめとする連携

### 三木町役場税務課 香川大学との連携で 三木町をもっと元気に!



三木町の魅力ある商品が掲載されたパンフレット。

ふるさと納税という言葉をお聞きになったことのある方も、今、そのふるさと納税に職員一丸となって力を入れているのが、香川大学医学部・農学部がある町、三木町です。ふるさと納税とは、好きな地域(都道府県・市区町村)を選んで寄附をするという制度。寄附をすると、税金が控除されたり、寄附金の使い道を指定して地域を応援できたり、さらには寄附した地域からお礼の品などがもらえたりというメリットがあることから、注目を集めています。

三木町役場税務課では、今年、この制度を使ってたくさんの人たちに三木町を応援してもらいたいとの思いで職員による「ふるさと納税隊」を結成。誰かに頼るのではなく、自分たちの手や足、頭を使って、さまざまな取り組みを行っています。そのひとつが寄附をいただいた方への返礼品の充実。昨年までは7種類だったという返礼品を、平成28年12月現在、300種類まで増やしました。「去年まで実は三木町にはPRするものがこんなにあると思っていなかったんです」。身近すぎて気づかない「わが町の自慢の品」を見つけていくうちにまたたく間に数が増え、今後も増えていくそうです。「ふるさと納税のPRの一環として都内で返礼品の販売をする、チラシを自分たちでつくる、などこれまでやったことのないことがばかり。自分たちが動くことが大切と知りました。一緒に頑張っていくこう、と町民の方たちの意識も高まっているのがうれしい」といいます。

このふるさと納税の返礼品には、香川大学農学部の研究の柱



大学とは様々な形で連携していきたいと語る植松副町長(中)。

である「希少糖」を使った商品もあります。これを機に香川大学と三木町は、その寄附金の一部を財源として、地方創生や地域振興などの分野において連携・協力を図るための協定も結んでいます。希少糖の活用などによる生活習慣病予防対策や、専門的な立場からのアドバイスなど、農学部・医学部に限らず、A・L・I香川大学とさまざまな形で協力しあうことで、さらに活性化していくという三木町。次々と新しいことを創り出していく職員の方たちのイキイキとした表情は、多くの人を元気にするパワーにあふれています。

三木町ふるさと納税に関するお問い合わせは **三木町役場 税務課** TEL.087-891-3305 FAX.087-898-1994  
zeimu@town.miki.lg.jp http://www.town.miki.lg.jp

**応援団②**

香川大学  
医学部への  
ご寄附

## 株式会社森川ゲージ製作所 感謝の気持ちを世の中に還元 地元の医療に役立ててほしい



人材育成の重要性を語る森川社長。

油圧・空圧、水圧機器や船舶用のエンジン機器、建設機械用部品など、さまざまな精密機械の設計製作を手がけている株式会社森川ゲージ製作所。創業は昭和30年。社名のとおり、各種ゲージの製作からスタートし、精密仕上げ技術において精度の高いものづくりを追求してきた会社です。すべての「もの」を測る基準となるのが、はかり(ゲージ)。そのゲージが確かでないければ、すべてに悪影響を及ぼすものです。手仕上げから始まったその仕上げ技術は、厚生労働省が表彰する「現代の名工」を輩出するほど。主となる製品がゲージから精密機械に代わっても「ここにしかできない」技術でものづくりに取り組んでいる、その姿勢は変わることはありません。



経験と努力に裏打ちされた技術を持つ名工達。

多くの名工を抱える同社ですが、代表である森川正英社長は「既存の技術や新しい設備への投資だけでは世の中の変化についていけない」と語ります。「日進月歩で進んでいく機械や技術の進化についていくためにはそれを扱う人材育成が欠かせない。優秀な人材を育てていく教育が大切です」。ではなにをして優秀ととらえるかという「学校での成績と社会で能力が高いのはイコールではなく、周りへの配慮や家族への思いやりなどが身に付いているかどうかでも社会で通用する人材になるかどうかわかる気



森川ゲージを代表する精密機械。

がする」と話します。厳しくそして温かく人を育て続ける一方、創業時代から公的活動にも力を入れてきた同社。創業者からの社会への貢献をという思いを受け継いで行っているさまざまな支援のひとつに、香川大学へのご寄附もあります。「企業が存続するのは、支えられているからこそ。感謝の気持ちを持って仕事をすることを先代、先々代から教わってきたのであれば、それを自社や自分だけの利益とするのではなく世の中に還元していきたい。地元の人間として附属病院にお世話になっているという感謝もあります。感謝を形にする



にあたって地元の医療に役立ててほしいという思いで香川大学医学部への支援をすることにしました。 「世の中の役に立つことを」シンプルだからこそ力強い森川社長のこの言葉を受け継ぎ、いただいた支援を社会へと還元できるように、役立てていきます。

株式会社森川ゲージ製作所 〒761-0612 香川県木田郡三木町氷上620 TEL.087-898-1151  
http://www.mg-w.co.jp